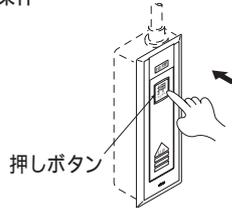


# ハンドルボックスの正しい操作方法。

## mini1 ハンドルボックス 埋込

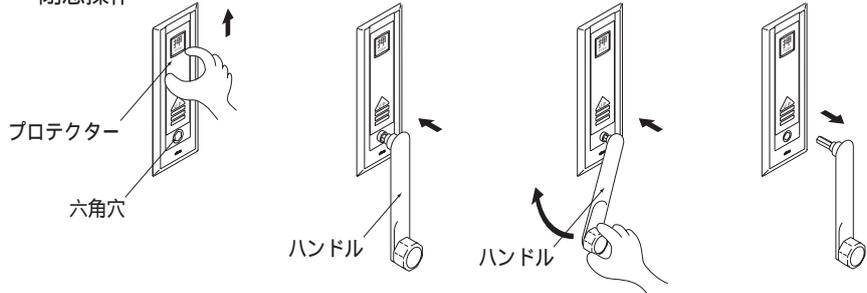


開窓操作



ハンドルボックスの押しボタンを押し込んでください。  
各窓が自動的に開きます。  
すべての窓が開いて、開窓操作が終了します。

閉窓操作



1. プロテクターを上部へスライドし、別保管されているハンドルを六角穴の奥まで差し込んでください。
2. ハンドルを右に回して閉窓します。すべての窓が閉まるとハンドルを手元に抜いてください。ハンドルは別の場所に保管してください。

\* ハンドルを六角穴に差し込んだままでは、窓を開くことができません。



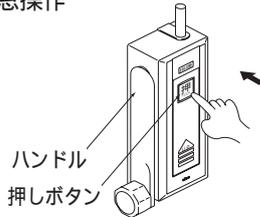
注意

本システムの性質上、操作時のハンドル操作力は窓ごとに軽いものと、重いものがあります。これは途中の配索、配管の長短及び屈折箇所によるもので故障ではありません。閉操作中は2kg～10kgの力で動きます。すべてが閉まった時は、それ以上回さないで下さい。装置の破損原因となります。

## mini3 ハンドルボックス 露出

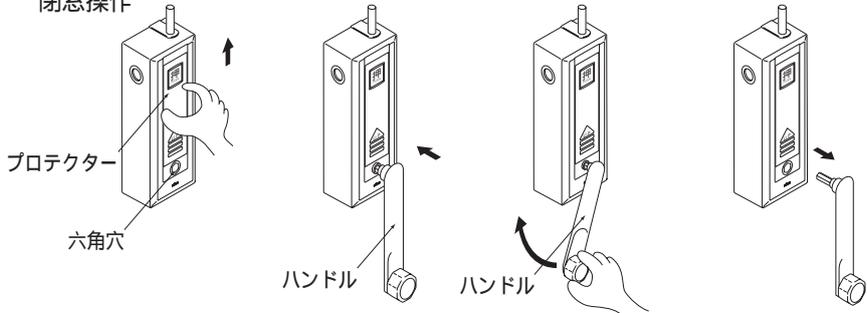


開窓操作



ハンドルボックスの押しボタンを押し込んでください。  
各窓が自動的に開きます。  
すべての窓が開いて、開窓操作が終了します。

閉窓操作



1. プロテクターを上部へスライドし、別保管されているハンドルを六角穴の奥まで差し込んでください。
2. ハンドルを右に回して閉窓します。すべての窓が閉まるとハンドルを手元に抜いてください。ハンドルは別の場所に保管してください。

\* ハンドルを六角穴に差し込んだままでは、窓を開くことができません。



注意

本システムの性質上、操作時のハンドル操作力は窓ごとに軽いものと、重いものがあります。これは途中の配索、配管の長短及び屈折箇所によるもので故障ではありません。閉操作中は2kg～10kgの力で動きます。すべてが閉まった時は、それ以上回さないで下さい。装置の破損原因となります。